

令和2年6月24日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題

精神科薬物療法の出口戦略の実践に資する Decision Aid（治療選択の手引き）の開発

研究責任者

藤田医科大学 医学部 精神神経科学講座 准教授 岸太郎

研究目的

この研究は、多剤・長期処方が社会問題となっている精神科薬物療法に焦点をあて、『安全な長期維持療法を続けるか、あるいは減量・中止を試みるか、ご本人と医療者と一緒に話し合いながら決める』ためのツールを、治療を受けているご本人の意見と取り入れながら開発することを目的としています。

研究方法

アンケート調査

① アンケートの方法

ツールの試作版をお渡しします。目を通していただき、一緒にお渡しするアンケートに回答ください。所要時間は30分程度です。

② アンケートの分析方法

アンケート結果を集計し、分析を行います。

研究期間

倫理審査で承認された日から2025年3月31日の予定です。

研究対象者

医療者用アンケートの対象は、精神科医です。

患者さん用アンケートの対象は、統合失調症で「抗精神病薬」内服中の外来患者さん、うつ病で「抗うつ薬」内服中の外来患者さん、双極性障害で「気分安定薬」内服中の外来患者さん、不眠症で「睡眠薬」内服中の外来患者さん、不安障害で「抗不安薬」内服中の外来患者さん、ADHD(Attention Deficit Hyperactivity Disorder 注意欠如・多動症)で「ADHD 治療薬」を内服中の外来

患者さんです。

試料・情報の種類

医療者用アンケート：性別、年齢、アンケート結果

患者さん用アンケート：性別、年齢、最終学歴、アンケート結果

利用する試料情報の項目、利用する者の範囲の記載

プライバシーの保護には十分配慮いたします。この研究に必要な情報は収集しません。アンケートの回答内容は、この研究のためにのみ使用します。分析は、個人が特定できないようにしたうえで杏林大学および協力研究施設において研究責任者および研究分担者が行い、それ以外の目にふれることはありません。結果は、学術論文等で報告の予定ですが、そのときもお名前や個人を特定できる情報は使用しませんし、状況から個人が特定されないよう一部改変いたします。なお、ご希望であれば、この研究の研究計画書および結果を開示いたします。

問い合わせ先

藤田医科大学 精神神経科学

担当者：岸太郎

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-9250